

# フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を「分かち合い」「ありがとう」へ



## 特集

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止で地域でおこっていること 9

フードドライブ(市民の寄付)  
ありがとうございます!

#### WE21ジャパン

世界食料デー・世界貧困デーキャンペーンに合わせて



認定NPO法人WE21ジャパンは10月16日世界食料デー、17日世界貧困デーを中心に、世界と私のつながり、私たちが普段の生活でできることを考えるキャンペーンに合わせ、11店舗でフードドライブを実施(10月1日~31日)。集まった食品は272kg。米、カップ麺、缶詰類、お菓子などフードバンクかながわに集め、地域の子ども食堂・フードバンク・社協を通じて、シングルマザー世帯等に提供した。コロナ禍での食品配布が大変喜ばれた。



ありがとう

中学生・高校生の育ち盛り食欲旺盛で食費がかかっていたので、とても感謝しております。感動して一人で泣いてしまいました。子供たちにばれないように。皆様に支えられているんだなあと思いました。

#### フードドライブ色々

#### クリスマスのお菓子も

ホームページの呼びかけで、クリスマスのお菓子が集まっている。JAのマスクサントさんからも大小の手作りマスク178枚とクリスマス用のお菓子、ボランティアさんからも、HPみたよという方からもお菓子が届きました。



土山事務局次長も感激!

## 米一合運動

連合神奈川  
+ 県労福協

全水道神奈川県支部は  
社会貢献活動として  
米50kgを6か月間毎月提供



### 寄稿

#### 理解と共感を広げたい!

~米50キロを6か月間寄贈~

全水道神奈川 執行委員長 的場 信也

全水道神奈川は本年度の定期大会において頻発している自然災害への支援について議論し、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響も含め社会貢献事業などに幅を広げた総括をしてきました。なかでも連合神奈川から県労福協との「米一合運動」の取り組みを求められ、身近な活動としてこのような支え合い助け合いの運動がこれからの社会貢献活動の活性化につながるものと機関会議で確認しました。神奈川県支部の組織構成も若年層が増え財政的に大変厳しい状況で経費を節減し活動を制約されているなか、組織力や活動をより広げる取り組みとして推進していくこととしました。

今、私たちの生活はもとより、コロナ禍により引き起こされた雇用・経済の問題は各種商業店舗の収益減の矛先としてもアルバイトを含め雇用の打切りや唯一の収入先を失うひとり親世帯や多くの学生にまで広範囲に影響を及ぼしていると感じています。加えて『フードバンクかながわ』は昨年の2倍以上のコメの寄贈を受けているとのことですが、これを上回るコメの需要があると報告されています。私たちとしては食困窮者へ少しでも食支援の一助になればとの考えのもと、10月から来年の3月まで毎月50キロのコメを寄贈し、この運動に理解や共感を広げられるようできる限り協力していきたいと考えています。

#### 米一合運動・続々

11月だけで  
横浜労福協  
チャリティゴルフ138kg  
横浜労福協福祉  
チャリティフェスタ64kg  
浜教組43kg  
日産テクノ労組28kg  
相模原労福協、川崎労福協等、続々集まっています



#### JAのお米



▲藤沢市農業経営士協議会会長と  
フードバンクの市川理事 新米を含め  
280kg寄贈。1月にフードドライブ  
予定



▲JA横浜女性部 360kg  
12月フードドライブと募  
金活動予定

お問い合わせ

公益社団 フードバンクかながわ [info@fb-kanagawa.com](mailto:info@fb-kanagawa.com)

236-0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45 発行責任: 藤田 誠  
Tel 045-349-5803



## 基本情報 2020年度の累計 (2020/11/30現在)

<b>寄贈された食品</b> 738回 133.2トン	<b>提供した食品</b> 1569回 130.0トン
企業等 279回 116.0トン	行政・社協 386回 27.4トン
フードドライブ 459回 17.2トン	地域のフードバンク 249回 37.8トン
	こども食堂等 627回 41.8トン
	自立支援施設 54回 2.6トン
	福祉・病院関係 253回 20.1トン
	調整 0.3トン

10月は寄贈 17.7トン  
提供 13.5トン

(2019年度実績 寄贈 97トン・提供 92トン)

## 合意書締結団体

寄贈締結団体	134団体
提供締結団体	196団体
行政・社協	49団体
市民団体	147団体
(子ども食堂・居場所・ 施設・福祉関係含む)	

## 賛助会員寄付状況

団体会員	163団体 588口
	588万円
個人会員	228人 1017口
	1017千円
2020年寄付金	5,064,818円
寄付累計	16,438,261円

## 11月の状況 11/1~11/30 寄贈8.9トン 提供12.5トン

<b>【寄贈食品】 8.9トン</b>	<b>【提供食品】 12.6トン</b>
事業者 5.7トン 回	行政・社協 1.8トン 29団体 50回
フードドライブ 3.2トン 回	地域のフードバンク 3.8トン 14団体 27回
	こども食堂・居場所 4.4トン 52団体 66回
	施設関係 0.2トン 5団体 7回
	福祉病院関係 2.3トン 20団体 17回

### 寄贈

経済活動が再開され、企業からの食品寄贈が減っている。11月は、企業寄贈は2社でクラダシから常温保存の生うどん2000個、日生協からゼリーの寄贈。防災備蓄品が多く、アルファ米（わかめごはん、牛めし、ドライカレー、チキンライス、炒飯、山菜おこわ等）やパン缶が、日新産業、東京海上日動、東芝、明治大学、中区役所からあった。ユーコープからの米とキャンセル品、ミツハシライスからの米は継続。それぞれありがたく助かっています。

### フードドライブ 62回 3.2トンkg

フードドライブでは、毎日のように食品が送られており、26件864個238kg。連合/労福協の米1合運動の呼びかけで米寄贈が伸びている。横浜労福協183kg、西湘労福協53kg、横浜労福協福祉フェスタ133kg等。WE21ジャパンの11ショップから272kg、生活クラブ組合員地域組織から54kgの寄贈。

### 提供 120団体 167回

横浜市・横浜市母子寡婦福祉会や地域のフードバンク、子ども食堂からフードパントリーに移した団体が一人親支援に力を入れており、食品提供量が增大。相模原市は引き続き学生支援を継続しており飲料や鍋スープ等、毎週末とまった量の食品を提供。提供量が寄贈量を大幅に上回った。12月は各自治体・社協での生活困窮者支援活動が増えるので、提供食品の逼迫が懸念される。

米は3.6トン提供  
1月の2.4倍

## 年越しはうどん!

(株)クラダシより提供のうどんは、年末を待たずに終了。



## 『フードバンクに関わる政策研究会』第2回11月4日

「コロナ禍で増えるフードパントリーの役割」をテーマに茅ヶ崎の「地域のお茶の間研究所さろんどて」の早川仁美さんが講演。

コロナにより夫婦で職を失った人が、徒歩で遠くからケースを持って取りに来られ、こんなにも嬉しいのかと感激された。休校中ご飯を毎日作るので使う食品が増えたというシングルマザー。いまはwithコロナになり、若者のニーズは特に増えている等の事例報告。

茅ヶ崎市や社協の窓口では緊張する人も、食を挟んでの対話では心を開きやすく、より適切な支援に結びつけやすい。伴走支援に必要なスキルを身に付ける傾聴講座を実施し、卒業生数十人は地域で活動しているという。自立支援の窓口に来た人等で食支援要請のある人に渡しているが、福祉支援課・子育て支援課などの間での案内チラシ配布にまでは連携できていないなどの課題もあり、政策提言の必要性が明らかになった。



## メッセージ

### 土橋 亮太 事業推進委員

(中央労働金庫神奈川県本部 次長)

新型コロナウイルス感染症の第3波による感染拡大が続いておりますが、我々の社会生活に大きな影響が出ないこと、また一日も早くワクチン投与が開始され終息することを願うばかりです。

さて、中央ろうきんでは、これまで「たすけ合い」の精神のもとで共感の輪を広げ、はたらく人の生涯にわたる安心・安全な生活をサポートし、「共生社会」の実現にむけて様々な社会的課題の解決に寄与する活動をしてまいりました。

フードバンクかながわの活動においても「食」の支援を通じて多くの人の生活を助け、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することができると感じております。コロナ禍における今こそ、協力団体間のネットワークのもと、連携を強めフードバンク活動の輪を広げていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



## 大学生のNPOインターンシップ・ 高校生の大学受験のためのレポート 提出等での研修の受け入れが増加

左大学に無事合格・右NPO体験の東海大生



## 浜教組 研修

横浜市教職員組合9名の皆さんがフードバンクで研修と仕分け・米小袋詰めを体験。柳井委員長は、まず教員からフードバンクを知り、子どもたちに伝え、フードドライブや米一合運動を呼び掛ける基盤を作っていくと挨拶。市内500校でフードドライブを実施した場合の搬送を課題としてあげた。

(事務局長手作りのコロナ対策パーティー大活躍)



### コロナに負けるな

### 「大切なのは人を 思いやる心」

横浜市教職員組合はコロナ感染者へのバッシングをなくす啓発バッジを作成し配布中。市教職員組合事務局まで。045-231-6231

## コロナに負けるな!キャンペーン



### 「季刊誌 横濱」連載 の『横濱の底力』

執筆者で作家の山崎洋子さんがフードバンクかながわ取材。